

農委会報

第51号

令和4年度

# 新庄

編集・発行

令和5年1月6日

新庄市農業委員会

☎0233-29-5839(直通)



安達貴之さん(昭和四)が就農されたきっかけは、生まれ育った昭和地区で花の栽培が盛んだったことにあります。現在は、ご両親と奥様とで農業経営を行われており、水稲以外で力を入れている作物は、トルコ桔梗、リンドウ、ストックなどの花き類です。

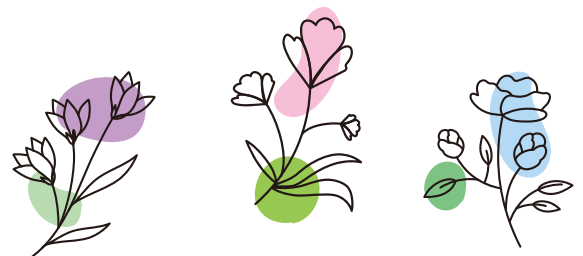
家族で農業をしていてよかったと思うことは、良い農作物ができた時の喜びを共有することができることだそうです。今の仕事が天職とも語ってくれました。また日頃からお客様から信頼を得ることや市場の声を聞くことを心掛けておられ、リピーターになってくれたお客様が増えてきたことがとても嬉しいそうです。

若手農業者との情報交換も積極的に行っており、自分の代になっても農業を続けていきたいと爽やかな笑顔で将来の夢を語ってくれました。

(萩野地区 指村 貞芳)

## 目次

- ・新年のあいさつ…………… 2 ページ
- ・今年度の活動…………… 3 ページ
- ・農業者年金…………… 4 ページ
- ・相続登記の義務化…………… 5 ページ
- ・農業委員・推進委員の推薦・募集… 5 ページ
- ・事務局からのお知らせ…………… 6 ページ
- ・編集後記…………… 6 ページ





謹んで新年のお慶びを申し上げます。

新庄市農業委員会 会長 浅沼 玲子



2020年2月に中国湖北省武漢で初めて確認された新型コロナウイルス感染症は未だに全世界で

猛威を振るい続けています。更に昨年2月からのロシアによるウクライナ侵攻はエネルギー、穀物、配合飼料などの価格高騰を招き、資源の乏しい我が国にとって大きな打撃となり国民生活や経済活動は厳しい状況が続いています。

県内では昨年も気象災害の被害が発生しています。4月下旬の降雪では「アスパラガス」への凍害被害、6月、8月には県内各地で記録的な豪雨による被害が発生しました。新庄市では6月の観測史上最大の雨量(198.5mm)が観測され、68世帯に避難指示が出された他、多くの農地、農業用施設へ甚大な被害が及びました。被害に遭われた農業者の方々へ改めてお見舞い申し上げます。  
稲作においては、県の22年産米の作況指数が2017年以来の「平年並み」

で「99」、最上地域は「やや不良」の「98」と発表されています。また、昨年暮れには鶴岡市において高病原性鳥インフルエンザが確認されるなど、農業を取り巻く環境が厳しい一年となりました。

さて、新庄市農業委員会は、本年7月に改選を迎えます。新型コロナウイルス感染症の影響で制限された場面もある3年間でしたが、農業委員、農地利用最適化推進委員が連携して、本市の農地利用最適化を進めてきました。

7月から新たな体制となりますが、引き続き農業者の皆様から信頼される組織として法令を遵守し、持続可能な地域農業の実現に向け活動してまいります。  
人口減少による担い手の高齢化、後継者不足という問題に直面しています。が、農業者の皆様、関係機関のご指導、ご協力をお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



本年もどうぞよろしくお願ひいたします

農業委員

- |      |      |      |      |      |      |             |      |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      |       |     |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|-------------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|------|------|------|------|------|------|
| 伊藤正美 | 海浦洋一 | 須藤芳正 | 今田明二 | 今田明二 | 三原常男 | 農地利用最適化推進委員 | 早坂浩樹 | 佐藤喜代志 | 星川秀一 | 下川秀一 | 星川吉和 | 森山良一 | 高山光弥 | 三原康志 | 指原貞芳 | 齋藤謙二 | 佐藤啓成 | 五十嵐成生 | 星川豊 | 丹宮成彦 | 田宮真一 | 間水哲夫 | 清水行也 | 笹沼玲子 | 浅沼玲子 |
|------|------|------|------|------|------|-------------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-----|------|------|------|------|------|------|

農業委員会の主な仕事

- ①優良農地の確保と有効利用のために、遊休農地所有者に対する意向の確認や、農地台帳による情報管理。
- ②担い手への農地利用の集積・集約化のため、農地の利用調整やあっせん
- ③農地等の利用最適化のため関係行政機関への意見の提出
- ④農業者年金の加入推進







### 農地パトロールを実施しました

7月22日から約1ヶ月間を農地パトロール強化期間と定め、市内全域で農地パトロールを実施しました。調査を行う上で重点的に取り組んだ課題は、  
 ① 遊休農地の実態把握と発生防止・解消  
 ② 農地の違反転用発生防止等の2つです。

農地は一度耕作を放棄すると、数年で原形を失うほどに荒れてしまいます。病害虫の発生など、近隣の農地や住民にも大変な迷惑がかかりますので、農地を所有する方は、適切な管理をお願いします。

農業委員と農地利用最適化推進委員は、農業者の代表として皆様からの農地に関するご要望・ご質問に対応しております。「自分で耕作できないので農地を貸したい」等の場合はお気軽にご相談ください。  
 (新庄地区 五十嵐成生)

### 研修会に参加しました

7月29日に最上地方農業委員会協議会による研修会が開催されました。当日は、最上管内の農業委員をはじめ農業関係者や一般の方、約60名が参加しました。当委員会より8名の農業委員・農地利用最適化推進委員も参加し、熱心に耳を傾けていました。

講師に秋田県立大学教授鈴木一哉氏を迎え、「農業分野における通信・クラウド技術の活用とDXについて」をテーマに、通信技術の基本からDXの実際の活用事例までを学びました。

パネルディスカッションの部では浅沼会長を座長に『新しい通信技術に期待すること』をテーマに意見交換が行われました。若手農業者からは、天候データの収集やドローンの活用等新しい技術を積極的に取り入れ、今後もDXを駆使して地域農業のさらなる発展を目指しているとの事例発表がありました。

また、農家の高齢化が進む中、長年の経験で取得した農業のノウハウをデータ化することで手間のかかる農作業の効率化やコストダウンを目指すことができるという意見もあり、大変頼もしく感じてきました。



※DX：Digital Transformation(デジタルトランスフォーメーション)の略。デジタル技術により、ビジネスや社会等を変えること。

### 農業委員会大会に参加しました

11月18日、令和4年度山形県農業委員会大会が南陽市「シエルターナンようホール」で開催されました。今年には人数制限がなくなり、当委員会から16名が参加しました。会場には県内全市町村より約700人が集まり活気がありました。



大会では、当委員会の浅沼会長による農委憲章唱和の後、各地区から提出された議案の審議が行われました。「持続可能な農業・農村を創るための要請決議」、「地域の農地を活かし、持続可能な農業・農村を創る運動」を推進するための申し合せ決議、「農業者年金の加入推進と情報提供活動の強化に関する申し合せ決議」が提案され、満場一致で可決されました。

また、「農地利用の最適化に向けた農業委員会活動の強化について」の決意表明もあり、「ガンパウ宣言」の後に、次期開催地区の寒河江市に引き継がれました。  
 (八向地区 田宮成彦)



# 農業者年金で将来の不安を解消！

農業者の年金は基本国民年金だけですので、不安に思う方も多いでしょう。そんな皆さまにお勧めするのが、国民年金に上乗せできる農業者のための公的年金である「農業者年金」です。国の担い手対策も兼ねた政策年金でもあるためメリットがたくさんあります。今回はその一部をご紹介します。



## 若い農業者におススメポイント

ポイント

1

**保険料は自由に選べる！**（2万円～6万7千円、千円単位）  
さらに、35歳未満であれば、

**1万円からでも加入可能！**

ポイント

2

認定農業者で青色申告者等には、

**国庫補助で手厚い支援！**

**1万円の自己負担で2万円の積立てが実現！**

ポイント

3

自ら支払った保険料は、

**全額社会保険料控除の対象！**

**その他にも、税制面で優遇措置がある！**

## 女性農業者におススメポイント

ポイント

1

**終身年金であるため、長生きな女性でも安心！**

ポイント

2

加入に農地の権利は必要ないため、

**奥様だけでも加入できる！**

ポイント

3

家族経営協定を結んでいると

**保険料の国庫補助が受けられる！**

詳しくは…

<https://www.nounen.go.jp>



農業者年金の内容やご相談については、  
最寄りの農業委員会かJA又は農業者年金基金に  
お問い合わせください。

独立行政法人 農業者年金基金

● 専門相談員  
TEL: 03-3502-3199

● 企画調整室  
TEL: 03-3502-3942

**令和6年4月から  
相続登記が義務化されます！**



所有者が亡くなったのに相続登記されないため、登記簿を見ても持ち主が分からず、復旧・復興事業等や取引が進められないといった「所有者不明土地問題」を防ぐための法律が、令和3年4月に成立し、相続登記が義務化される新しい制度が令和6年4月1日からスタートします。

◎ **相続登記の申請義務についてのルール** ◎

◎ **A 基本的なルール**

相続（遺言も含みます。）によって不動産を取得した相続人は、その所有権を取得したことを知った日から3年以内に相続登記の申請をしなければならぬこととされました。

「被相続人の死亡を知った日」からではないから、不動産の取得を知らなければ3年の期間は開始しません。

◎ **B 遺産分割が成立した時の追加的なルール**

遺産分割の話し合いがまとまった場合には、不動産を取得した相続人は、遺産分割が成立した日から3年以内に、その内容を踏まえた登記を申請しなければならぬこととされました。

◎ A・Bともに、正当な理由がないのに義務に違反した場合、10万円以下の過料の適用対象となります。

詳しくは、法務省又は山形地方事務局のホームページをご覧ください。

**農業委員・推進委員の推薦・募集を行います！**

**募集期間**

令和5年2月1日(水)～2月28日(火)必着

**応募の方法**

「農業団体や地域の農業者からの推薦」と「自ら応募」があります。

※推薦の場合は、推薦書が必要です。

新庄市農業委員会へ所定の書類を提出してください。用紙は新庄市農業委員会にございます。また、市のホームページからダウンロードすることもできます。

**任 期**

3年(令和5年7月20日～令和8年7月19日)

**公表について**

応募状況の中間経過や募集結果は市のHPで公表します。

**農業委員とは**

募集人数 19名

**主な業務**

総会に出席し、農地の貸借・売買・転用許可について審議・判断を行うほかに必要に応じて現地調査を実施します。

**要 件**

農業に関する識見を有し、農業委員会の掌握事務を適切に行うことができる者。

**農地利用最適化推進委員とは**

募集人数 8名 (新庄地区3名、稲舟地区1名、萩野地区3名、八向地区1名)

**主な業務**

担当地区で農地等の利用の最適化のため担い手への農地集積・集約や、遊休農地の発生防止と解消などを重点とした活動を行います。

**要 件**

担い手への農地利用集積、遊休農地の防止などに熱意と識見を有し、適正な業務を行うことができる者。



# 事務局からのお知らせ



## 農地の権利移動には農業委員会の許可が必要です



農用地利用集積計画による農地の権利移動を希望する場合は、お近くの農業委員 又は農地利用最適化推進委員にご相談ください。

### 農業委員会の許可

- 農地を貸借、または耕作目的で売買・贈与する場合は農地法第3条許可が必要です。
- 自分の農地を他の用途に転用する場合は農地法第4条許可が必要です。
- 自分以外の農地を他の用途に転用するために、売買や贈与、貸借する場合は農地法第5条許可が必要です。

### 農業委員会への報告

- 農地の賃借契約の解約は農地法第18条第6項による合意解約の通知が必要です。
- 農地の相続等により所有権を取得した場合は、農地法第3条の3第1項の規定による届出書の提出が必要です。耕作者がいなければ、借り手を探すお手伝いを行います。



## 申請・報告等は随時受け付けております



詳しくは、農業委員会事務局(直通29-5839)まで

週間 月4回 金曜日発行  
月700円、年8,400円(消費税込)

●発行所 全国農業会議所  
〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8  
中央労働基準協会2階  
TEL 03-6910-130 FAX 03-3261-5132



農業新聞を購読しませんか？  
全国農業新聞は地域農業者の代表機関である農業委員会のネットワークが発行する週間の農業専門総合誌です。  
農業者年金、税金、農業経営など、農業をするうえで欠かせない情報が満載です。  
購読のお申し込み、お問い合わせはお気軽に新庄市農業委員会までご連絡ください。

### 全国農業新聞のお知らせ

### 編集後記

令和4年も激動の年となりました。

昨今の異常気象が恒常化し毎年のように県内各地に災害をもたらした農作物の管理にご苦労された事と思います。更に肥料も含め資材等の急激な価格高騰が続くとみられ農家の皆様には大変厳しい状況が続いています。

一方で全国的に農家の担い手不足問題があるなか令和4年度山形県新規就農者数が七年連続で東北1位という素晴らしい報告もありました。

今後を見据えた農業を考えた時に農地の最適な活用にに向けて農業委員会も全力でサポートしていきますので今年も宜しくお願い致します。



(稲舟地区 高山光弥)

### 農委広報編集委員

- 五十嵐成生委員 (新庄地区)
- 高山 光弥委員 (稲舟地区)
- 指村 貞芳委員 (萩野地区)
- 田宮 成彦委員 (八向地区)